

4月20日（月） 全校集会

皆さん、おはようございます。

今日は、とても大切にしてほしい行動について、うれしい報告を一つ紹介します。

4月12日の日曜日のことです。

本校の女子バレーボール部、2年生・3年生の生徒が、部活動を終えて下校している途中、道に倒れているおばあさんを見つけました。

その場でどうするか。迷って通り過ぎることもできたはずですが。

しかし、その生徒たちは違いました。すぐに学校へ戻り、顧問の先生に状況を伝えました。

連絡を受けた顧問の先生も、すぐに現場へ駆けつけました。

幸い、おばあさんはスマートフォンを持っており、家族と連絡を取ることができました。さらに、入院していた病院の方も駆けつけ、無事に保護され、大事には至りませんでした。

後で分かったことですが、そのおばあさんは少し認知症があり、入院していた病院を抜け出してしまい、周りでは大変な騒ぎになっていたそうです。

もし、あのとき誰も気づかなかったら。

もし、気づいても行動しなかつたら。

そう考えると、今回の行動がどれだけ大きな意味を持っているかが分かります。

ここで皆さんに考えてほしいことがあります。

「優しい人」とは、どんな人でしょうか。

気持ちだけで終わる人でしょうか。

それとも、行動に移せる人でしょうか。

今回の女子バレーボール部の皆さんは、「気づく力」と「行動する勇気」を持っていました。

そして、顧問の先生も、その思いをしっかりと受け止め、すぐに動きました。

私は、この一連の行動を心から誇りに思います。

本校の生徒、そして先生が、こうした行動をとれたことを、とてもうれしく思います。

皆さんも、これから日常の中で、同じような場面に出会うかもしれません。

そのとき、「誰かがやるだろう」ではなく、「自分にできることは何か」と考え、行動できる人であ

ってほしいと思います。

最後に、今回の行動をとってくれた女子バレーボール部の皆さん、そして顧問の先生に、全校で拍手を送りましょう。

(拍手)

ありがとうございました。

以上で、私の本日の話を終わります。